

# 無∞限∞大

鳳高校 74 期生学年通信  
(第 7 号) 2020/10/19  
二年次学年通信編集係

第三考査が終わり、季節も秋へと移っています。第四考査までは長い道のりです。しっかり計画を立てて学習しましょう。また、学校行事もいくつか控えています。それらにも積極的に取り組み、学びと成長につなげましょう。チャンスの神様は前髪しかみせてくれませんか！

## 第三考査講評

### 現代文 B

記述問題が増えた(50 字以内 3 問→50~60 字 4 問) こともあってか、学年平均は前回より下がった。問題量の多さに苦闘する者もいたようだが、本文内容は(授業をしっかりとることで)把握できているはずである。問題の指示、および文字数を勘案し、本文の要点を正確に解答に反映させられるように心がけてもらいたい。

また、漢字の読み書き、語句の意味などといった知識問題は、普段の生活で意識的に身につけていくことができるものである。普段の読書、他教科における言葉の使われ方、テレビのテロップや電車の中吊り広告など、幅広く「学ぶ意識(=興味・関心)」をもってもらいたい。

### 古典 B

前回同様、気がかりだったのは現代語訳の問題です。こうした問題は文法事項や重要語句が覚えられているか、理解できているかを問うているわけです。従って、それらを「なあなあ」に訳したものでは正解とはなりません。少なくとも授業で指摘された箇所に関しては、繰り返し復習し、定着させましょう。

また、問題の意図も正確に読み取る必要があります。例えば「大問四 問八」では、「楊貴妃の例」が「どのようなことを心配して引き合いに出されているのか」と聞かれて、「楊貴妃の例」の説明だけをする解答が散見されました。「何が問われているか」を意識して、解答をしましょう。

### 古典標準

古典標準第三考査の全体平均は 70 点でした。前回に比べて範囲が広がったにもかかわらず、しっかりと取り組むことが出来ていると思います。

第四考査にむけても『古典常識や文法などの基礎知識をさらに確実なものにする』『さらに多くの作品にふれる』を念頭に授業を進めていく予定です。

たくさんの作品にふれてきたという経験が自信になります。現代に生きる私たちには理解が難しい感覚も、古典作品のおもしろさのひとつと考え、古典学習を続けていきましょう。

### 評論文購読

今回の試験範囲の四つの文章をまとめますと、「文化芸術を通しての異文化間における相互理解・武満徹」「人間の説明能力を超えた、言語の不思議さへの哲学的アプローチ・永井均」「心身の一元性について、認知神経科学からの鋭い指摘・下條信輔」「大都市空間での人間のプロイラー化・三浦展」となります。どれも大きなテーマです。入試評論・小論文対策としても、しっかり主張・論旨の展開を押さえておきたいところです。論旨を追って理解できているかどうかは、文中の語を用いて、その内容を自分で説明できるかどうかにかかっています。(つまり、要約できるかどうかです。)記述問題は、何らかの形で要約を求めています。記述問題にもっと積極的に取り組んでください。配点が大きい(あきらめると自分だけ 90 点以下満点のテストに変わる)ということもありますが、論旨を習得できていれば、考える武器、人を説得する武器を鍛えることになるでしょう。だんだん話題の抽象度、

難度が上がってきます。その面白さを感じられるようになってほしいですね。

### 日本史 A

第二考査を踏まえて、第三考査が行われましたが、各講座の平均点と学習状況は計画通りに進んでおります。考査では記述で解答する箇所では、やはり得点の減少がみられますのでしっかり理解して学んでいきましょう。

次の範囲は、日本の内政・経済・世界との関係性などなど、日本を多角的にみないと理解が難しいところですので、1つ1つの授業を大切に学んでいきましょう。

### 数学 II

模範解答の裏に各問題のメッセージと対応する教科書の問題番号を載せておきました。テストに出た問題は、ほとんど教科書に類題がある問題です。教科書がいかに大切か分かったでしょうか? 4 STEP を解くときにも、教科書・授業ノートを横に置いておいて、「この問題は教科書の~のあたりで解いた問題の類題だなあ」と「ひもづけ」しながら解くとよいでしょう。そうすれば、一見膨大な問題量の 4STEP の流れや構造、要点がより見えてくるはずですよ。考査後の授業では三角関数の後半戦に入ります。大問 3 などの基本で失点していた人は、sin, cos, tan とは何だったか(定義)をもう一度確認しておきましょう。

### 物理

考査の平均が 40 点を下回るという非常に残念な結果になっています。目についたのは有効数字や単位の間違いで減点されている生徒が多いということです。(7割を超えています。これがなければ平均点も 2 点以上上がっています)。指数の計算ができていなくて桁が間違っている生徒もいました。公式に代入して解くという勉強はしているのですが、簡単な問題でも見慣れない形式で出題されると途端に解けなくなっています。典型的なのが最初の問題で、解説をされれば間違えることはないと思いますが正答率が 30% もありません。

第 2 考査でも指摘した、計算力の不足の他に基本事項の確認ができていないようです。公式の暗記のみの表面的なものではなく本質的な現象を理解してください。対策としては何度も繰り返し問題を解くことをお勧めします。似たような問題だからと言って計算を省くことなく取り組みましょう。いやでも指数の計算や単位の取り扱いは身につきます。難しい問題にも取り組んでください。小テストの追試も利用して第 4 考査に備えてください。

### 化学

第 3 考査の平均点は 50.7 点でした。1 年の「化学基礎」からずっと君たちのテストを作成してきましたが、今回が一番悪かったです。範囲が広いいうえに、ほとんどが計算と化学反応式を作るという今までになかったパターンだったので仕方がないということもあります。

今回の試験を受けて分かったと思いますが、覚えなければいけないことはきっちりと覚えておかないといけません。あやふやに覚えていると何にも役に立たないのです。そのためには、理解することです。何の意味も分からず丸暗記することはできません。いつも言っていることですが、授業の中で少しでも「わかる」ことを見つけてください。今一度「授業」の大切さを考えてほしいです。

### 長文読解

第 3 考査の学年平均は 65 点で、第 2 考査より平均点が高かったです。出題の傾向がわかってきたということもあるでしょうが、準備をしっかりと試験に臨んだことの証でもあり、たいへん嬉しく思っています。

ただ全体的に点数が低かった箇所は文法問題です。文



法の基礎ができていると、タラタラと続く長い英文でもどこで区切って読めばいいのかを瞬時につかめ、定期テストだけでなく、初見の文章でも苦なく読めるようになります。文法は文法のためのものではなく、文章を読むためのものです。基本的な英文法をしっかりと身につけるべく努力をしていて頂きたいです。

### 英語表現

今回の学年平均は 55.7 点。前回は 61.9 点だったので、7 点近く平均が落ちたこととなります。問題が難しかったですか？今の授業は、いきなり受験問題なので、だれでも最初は戸惑うことと思います。しかし、やらなければならないことは、しっかりこなさなければ、希望の進路は『棚からぼた餅』のように落ちてはきません。まずは、授業でやるところを予習して、授業をしっかり聞いて、理解して、そのポイントを暗記する。そこから、受験勉強も始まります。予習＋授業＋理解と暗記！を頑張ってください。ちょうど今、ガイダンスを通して、進路を考え始めたところですよ。受験勉強は真剣に始める時期が早ければ早いほど、合格の可能性は高くなる！と予備校ではうたっています。いつ始めるの？（今でしょ！！古い（笑）細かいことを言うなら、メインのネクステージができていない人が多かった。60 点分で何点取れましたか？単語の定義の 12 点分。単語の意味さえわかっていたら、みんなだったら 10 点はとれるはず。速読も甘い（はっきり理解していない）答えが多かった…。リスニングもただ聞き流すのではなく、これが来るぞ～と準備する。Essay は教員としては、楽しんで読むことができました。意外と教員志望が多い。学校はみんなにとって楽しい場所なんですね。（良かった）後は、そろそろ真剣に将来を考えて、進んでゆきましょう。いくらでも応援します。

### 今後の学年行事について

スポーツの秋、読書の秋…。皆さんはどんな秋を過ごしていますか。今月末にはクラスマッチが行われます。各クラスの実行委員や行事委員が何度も会議を重ねて作り上げてくれました。全力で取り組み、楽しんでほしいと思います。そして、来月はビブリオバトルです。今年は各クラスのチャンピオンたちによる学年チャンピオンの決定を予定しています。形式は昨年同様ミニビブリオバトル（発表 3 分、質疑応答 1 分）です。各自とおきの本を用意してバトルに臨みましょう。

#### 【予定】

クラスマッチ …10月29日（木）  
ビブリオバトル…11月9～13日 クラス予選（「現代文」の授業にて）  
11月19日（木） 決勝戦

### 今後の予定



10月21日（水）	自治会役員選挙
22日（木）	進路講演会（一部時間割変更あり）
29日（木）	クラスマッチ
31日（土）	午前中授業（火1月67）＋午後 学校説明会
11月 2日（月）	模擬試験
11月4～6日（水～金）	保護者懇談
12日（木）	人権
19日（木）	ビブリオバトル
24日（火）	月1～7
26日（木）	芸術鑑賞